

## 第1回 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 概要

開催日時：令和5年9月19日（火）

開催場所：神奈川県庁本庁舎3階大会議場

参加者：保育士養成校 17名、

保育実習受入施設（対象地域：横浜市、川崎市、横須賀三浦地域） 90名

テーマ：①実習生への関わりについて ②実習記録について

### 意見交換会内容紹介

テーマ1：実習生への関わりについて

<グループA>

指導の仕方

（保育園側）

- ・配慮が必要な学生が増えている。
- ・使命感で厳しくしてしまう職員、優しすぎて伝わらないこともある。

↓「実習生受け入れマニュアル」全職員で共有

自分の目線で評価しない。“実習生をどう育てるか、寄り添う”

☆次の担い手を育てる。現場は楽しい！笑顔で帰ってくれるように。

（学校側）

- ・今の学生は言われたことはやる！それ以上はやらない学生が多い。
- ・現場の楽しさを感じることも大切だが、保育の中で大切なことは厳しく伝えてほしい。

<グループB>

実習生受け入れ時の失敗談

- ・先生たちが忙しそうに話しかけるタイミングがつかめなかったとのこと。（その日の活動のねらい、出欠等が日誌に記載できていない）
- ・普段の何気ない会話をおろそかにした。
- ・**後悔**自分が受け入れクラス（担任）だったとき、もっと褒めればよかった。もっと良いところをたくさん見つけてあげられたら良かった。
- ・職員との連携がとれていなかった。実習生がクラスに入る日の共有がずれたり、子ども達の欠席でずれこんだりする。
- ・不安にさせてしまった。短大の先生が訪ねてきた際、実習生が泣き出した。
- ・日誌の確認に時間がかかる。実習生に聞いたところ、1日分の日誌が出来上がるのに4時間かかるとのこと。

テーマ2：実習記録について

<グループC>

- ・記録についても厳しく、細かくは指導しない。
- ・ポイントを伝えている。
- ・赤で直さず、鉛筆で書き直したものを **救**（はなまる）。

## <グループD>

(学生のつぶやき)

- ・日々同じことが記録されている。
- ・ポイントをしぼるって何？
- ・学校で教えてもらっていない。

(先生たちの気持ち)

- ・実習日誌を見るの....ドキドキ。
- ・学生は保育のココを見ていたのね。
- ・事前準備は？

## <グループE>

実習①は時系列記録

実習②は保育エピソード記録

→気づき、感じたことを書く→感性を養う

- ・ありのままの事実を書く大切さを知る。
- ・エピソードを指導する先生との共有→考える力、伝える力が必要になる。



養成校の授業で取り入れましょう。

## 感想

- ・普段聞けない内容を聞くことができたので、とても大切な時間となりました。ぜひ今後も行ってください。ありがとうございました。
- ・他園の情報を知ることができて良かったです。実習を受け入れたことがある養成校の先生で、いろいろな話を聞くことができ、良い機会となった。
- ・今回の会に参加させて頂き、今まで気づけなかったことや取り入れたい良い取り組みがたくさんありました。本当に良い時間でした。ありがとうございました。
- ・養成校の先生のお話、他園の先生のお話を伺い、今後のために有意義な時間となりました。昔からの考え方になりがちな自分自身を反省し、今後保育者になるべく人たちと楽しく実習したいと思いました。
- ・保育園の先生方から直接お話をお聞きできる機会を設けてくださりありがとうございました。実習生を受け入れて下さり、一人ひとりを尊重し認め、ご指導して下さっていること、改めて感謝する時間となりました。
- ・養成校の立場で出席しましたが、各園の皆さんが実習生を大切に思い、様々な工夫をして受け入れて下さっていることを知ることができました。嬉しかったです。

